



余暇について考える

施設長 浅見 僚子

風薫る5月になりました。たんぽぽの玄関周りのツツジはひかえめな白い花を咲き終え、植え込みのツバキにはピカピカの若葉が輝いています。4月から引き続きコロナ対策は継続中ですが、順調に令和4年度がスタートしています。

先日のゴールデンウィークはどのようにお過ごしでしたでしょうか？年度始めの疲れを癒すにはいい時間になったことと思います。(たんぽぽ職員も同様です！)

たんぽぽは基本的には仕事(活動)をする場所であり、特に工賃向上を目指す「就B」はさらに仕事量・仕事を増やし、利用者様に働く喜びを感じていただき、休日には余暇を楽しんでいただきたいと思います。たんぽぽにおける余暇活動については、できる範囲での提供を計画しておりますが、仕事のやりがいと余暇の楽しみをたんぽぽですべて完結させることは難しい状況です。また、たんぽぽとの関わりだけで完結する生活も、変化や広がりがなくさびしい感じがします。

先日のモニタリングの際に、利用者の皆様が余暇をどのようにお過ごしかを聞き取りさせていただきました。下記のような内容でした。(コロナ前を含む)

ご家庭で&ご家族と	ご家庭以外の場所で&家族以外の方と	
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ ・YouTube ・ゲーム ・寝ている ・外食 ・旅行 ・散歩 ・自転車 ・買い物 ・音楽を聴く ・マンガ ・ドライブ ・家事 ・庭の湯 ・ハイキング ・絵を描く 	<ul style="list-style-type: none"> ・塾 (公文、障害者向けの塾) ・プール ・音楽療法 ・ダンス ・空手 ・和太鼓 ・体操 ・絵画教室 ＜ショートステイを定期的に利用＞ 	<ul style="list-style-type: none"> ＜ヘルパーさんと＞ ・散歩 ・ナンジャタウン ・美術館 ・カラオケ ・野球観戦 ＜「東京都障害者総合スポーツセンター」の事業 テニス・ノルディックウォーキング・水泳に参加＞ ＜障害者のキャンプ・スキー合宿＞

余暇の時間に自分なりの楽しみがあると、生活が豊かになります。その楽しみに支えられ仕事への意欲もわいてくるような気がします。仕事と余暇のバランスは生活の質を向上させる上で、重要なものだと思います。ご家族の皆様の余暇時間も大切にさせていただきたく、利用できるサービスを是非積極的に活用していただきたいと思います。利用者様の中に、現在ヘルパー利用の手続きを進めており、一緒にディズニーランドに行くことを楽しみにされている方がいます。上の表にある障害者スポーツセンターのように行政が実施しているイベントも活用できそうです。練馬区内には4か所の地域生活支援センターがあり、そこに通うことを計画している利用者様もいらっしゃいます。

龍鳳のパンフレットの表紙には「夢」という文字が掲げられています。利用者様の「こうありたい」を実現させるための支援という理念があります。余暇の過ごし方を考えていくうちに、利用者様の「こうありたい」を、私達職員はどの程度引き出しているのだろうかと反省させられました。利用者様の生活全体における夢や希望、困り事も含めて、支援を充実させることが大切だと思います。日々の支援だけでなく、たんぽぽでできないことについては、他の関係機関とも連携していくことが以前にもまして必要になってきています。利用者様の意思を引き出し、意思を尊重しながら、視野を広くもって見守ってまいります。

6月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

～自主製品担当より～

○夏に向けて新しいTシャツを製作致しました。
今回は「ちゅちゅちゅ猫」と「だごだごオートバイ」
です。
KURUMIRU やその他販売会にて出品をしております。

○ハンドメイドショップ「minne（ミンネ）」
ネット販売アプリに展示登録しました。

今後の販売に向けて準備をしております。

